様式87の13

経皮的循環補助法

経皮的循環補助法（小児を対象とする場合）　の施設基準に係る届出書添付書類

※該当する届出事項を○で囲むこと。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １　届出種別  ・新規届出　（実績期間 年 月～ 年 月）  ・再度の届出（実績期間 年 月～ 年 月） | | | | | | |
| ２　心臓血管手術の実施症例数　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　例 | | | | | | |
| ３　過去３年間における経皮的冠動脈形成術の実施症例数　　　　　　　　　　 　　　例 | | | | | | |
| ４　過去３年間における大動脈バルーンパンピング法の実施症例数　　　　　　 　　　例 | | | | | | |
| ５　過去３年間における経皮的心肺補助法の実施症例数　　　　　　　　　　　 　　　例 | | | | | | |
| ６　心臓血管外科の医師の氏名等 | | | | | | |
| 医師の氏名 | 勤務の態様 | 勤務時間 | | | 心臓血管外科の経験年数 | |
| 常勤　・　非常勤 | 常勤・非常勤 | 時間 | | | 年 | |
|  | 常勤・非常勤 | 時間 | | | 年 | |
| ７　循環器内科の医師の氏名等 | | | | | | |
| 医師の氏名 | 勤務の態様 | 勤務時間 | | 循環器内科の経験年数 | | |
|  | 常勤・非常勤 | 時間 | | 年 | | |
|  | 常勤・非常勤 | 時間 | | 年 | | |
| 以下、小児を対象とする場合には記載すること。 | | | | | | |
| ８　過去５年間における11歳未満の症例に対する機械的循環補助経験症例数　　　　　 例 | | | | | | |
| ９　「２」のうち、18歳未満の症例に対する心臓手術の実施症例数　　　　　　　　　 例 | | | | | | |
| 10　小児循環器内科の医師の氏名等 | | | | | | |
| 医師の氏名 | 勤務の態様 | | 勤務時間 | | | 小児循環器科の経験年数 |
|  | 常勤・非常勤 | | 時間 | | | 年 |
|  | 常勤・非常勤 | | 時間 | | | 年 |

[記載上の注意]

１　「１」は、特掲施設基準通知第２の４の(３)に定めるところによるものであること。

２　「２」は実績期間内に100例以上が必要であること。小児を対象とする場合は実績期間内に18歳未満の症例に対する心臓手術の実施症例数が50例以上が必要であること。また、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添２の様式52により添付すること。

３　「３」は実績期間内に300例以上が必要であること。ただし、小児を対象とする場合はこの限りではない。

４　「４」は実績期間内に30例以上が必要であること。また、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添２の様式52により添付すること。ただし、小児を対象とする場合はこの限りではない。

５　「５」は実績期間内に20例以上が必要であること。また、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添２の様式52により添付すること。ただし、小児を対象とする場合はこの限りではない。

６　「６」、「７」及び「10」の医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記入すること。

７　小児施設の場合、「８」は11歳未満の症例に対する機械的循環補助の実施症例数が５年間で３例以上が必要であること。